

## クリ（栗）について

もりふれ倶楽部理事長 榎原道夫



紅黄葉が散り始めました。クリの葉も黄色から褐色にかわり散り始め、落ち葉のぬくもりに色を添えています。今年は暑い夏といきなり寒い冬がやってきた感じで、四季というよりは二季といったほうが良いような感じになり、これも温暖化のなせる技かと心配になります。

我が家の裏に、弟が記念樹として植えた1本のクリの大木(樹齢60年の丹波クリ)があります。クリはふつう自家受粉ではあまり実(堅果)をつけないと言われていますが、我が家のクリは年によって多い少ないの差はありますが立派ないが(長い針を密生する殻斗)がつき2~3回のクリご飯が炊けるほどの実が収穫できます。

クリは温帯性のブナ科クリ属の落葉広葉樹で北半球の温帯地には、その地特有のクリが自生しています。中でも日本は北海道南部より九州まで、ほぼ全国にシバグリと呼ばれる野生のクリが自生します。特に暖温帯の少し高地にクリ帯と呼ばれるクリの自生が多いところがあり、生態的にも特徴を持っている地域です。

稲作文化の発達する前、いわゆる縄文時代はアワとかヒエと同様にクリは主食の一つとして大変重宝されたようです。今から 3,500～5,000 年前位の縄文時代中・後期の人の生活した住居遺跡から発掘されたゴミ捨て場の食べかすの中にクリの皮が大量に混ざっているそうです。特に東日本の縄文遺跡にはそれが顕著にみられるようです。

中でも青森市で発掘された三内丸山遺跡は縄文中期の大規模な集落跡で、直径約 1m のクリの大木 6 本による六本柱建物跡、柱穴の間隔や幅や深さが統一され、測定の技術があったことや防腐のため柱周囲を焦がした様子や、最盛期には 500 人くらいの人がそこで生活したらしい様子で、竪穴式掘立小屋がクリ材を中心にして建てられていたらしいことが報告されています。また出土したクリの DNA 分子の変異に多様性が少ないことから、クリの木の栽培がなされていたことが推測されるそうです。

このように、大昔からクリは人々の生活に直接関わりを持つ重要な植物で、果実は食糧に（縄文時代は主食の一つとして）茎材は腐れ難いので建築材として建物の柱や土台に、さらに家具材として、また鉄道線路の枕木として、現在でもなくてはならない植物として存在しています。

ブナ科（コナラ属 マテバシイ属 シイノキ属 クリ属 ブナ属）

クリ属 落葉高木だがまれに低木のものがある。堅果は食用とされ種々の改良品種が栽培されている。材は腐れ難いので枕木、土台等に賞揚され、また椎茸の原木とする。

シナグリは中国の原産で広く華北に栽培される。

セイヨウグリはイギリス、フランス等地中海沿岸地方原産で南欧に広く栽培される。

砂糖の衣をつけたマロングラッセはフランスの有名な菓子である。

アメリカグリは北米の原産で小さい堅果を食べる

葉は長楕円状披針形または狭長楕円形で先は鋭くとがる。側脈はほぼ平行 15～20 対あって先は芒状に終わる。コナラ属のクヌギの葉に似ているが冬芽がほぼ卵形で鱗片は 2～3 枚であること、若枝は暗褐色又は暗緑色で皮目が明瞭であること等で区別できる。

（保育社原色日本樹木図鑑による）

---

## 「あい 奥出雲町阿井地区の営み」 ついに刊行されました！

このプロジェクトが始まり、出版の日を迎えるまで、約 2 年の月日がかかりました。

それだけに、「話し手」の方と「聞き手」の方の生みの苦しみは大変なものであったであろうと思います。本当にありがとうございました。

阿井地区という中国山地の農山村を舞台に、今、穏やかに人生の晩年を迎えておられる 11 名の人生ドラマは、一見すべてが満ち足りたように見えるが、実は若者が希望を失い、親子の絆は壊れ、殺伐さを増してゆく現代社会において、不条理に立ち向かって行く勇気とたくましさ、人間らしい豊かな喜怒哀楽を思い起こさせてくれます。

これらは、作られた話ではなく、また、特別な偉人の話でもありません。でも、素晴らしい、生きた人々の証がここにあります。今、人間として生きていられることへのしみじみとした喜びと感謝を禁じ得ません。ご一読いただければ感謝の極みです。

この本の制作にご協力いただいたすべての方々に心より感謝しつつ。

平成 24 年 10 月 28 日 野田真幹



協力金 1,000 円で 1 冊お分けいたします。ご希望の方はもりふれ倶楽部まで！

# 平成24年度 もりふれ倶楽部の歩み

## 8月25日(土) 社会福祉法人プロジェクトゆうあい対応

ふるさと森林公園学習展示館に来館された社会福祉法人プロジェクトゆうあいの利用者5名、職員・ボランティア8名に対して、ヒノキの皮の紙漉き体験と木の輪切りを使った工作の指導を行いました。

指導 野田真幹

## 8月25日(土) サンセット自然観察会

ふるさと森林公園において、日中の暑さを避けて、サンセット自然観察会をおこないました。

指導 中村正志 ボランティア 百合澤博文

## 8月26日(日) 第3回神話の里さくらおろちの食べごと塾

ふるさと森林公園学習展示館において、NPO法人さくらおろちとの協働事業として、「第3回さくらおろちの食べごと塾」を開催しました。今回は、夏野菜を韓国料理でいただきました。

講師 玉木麗子、藤原人美他



## 8月28日(火) 松江市立竹矢小学校学童対応

ふるさと森林公園学習展示館において、松江市立竹矢小学校学童3年生16名に対して、森の大切さの話・ネイチャーゲーム・竹工作「竹プロペラガリガリくん」のそれぞれ指導を行いました。

指導 野々村俊成、野田真幹



## 8月28日(火) 29日(水) 宍道湖西岸森と自然財団対応

ふるさと森林公園学習展示館において、宍道湖西岸森と自然財団主催行事の中で、小学生19名に木切れや木の実を使った工作の指導を行いました。

指導 野田真幹 宮崎徳子

## 9月8日(土) 第4回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第4回大人のための自然観察会を開催しました。

指導 中村正志 ボランティア 百合澤博文

## 9月8日(土)～9日(日)「山の宝でもう一杯！」技術研修と講演会



津和野町の林地で「山の宝でもう一杯！」プロジェクト安全な作業のための技術研修と応援講演会国土緑化推進機構「国民参加による間伐材及び間伐材の利用促進事業」として実施しました。

## 9月9日(日) 樹木診断講座・樹木医養成講座

松江市、松江市樹木マップ作成実行委員会と共同主催で、松江市城山公園、県庁前広場において、樹木診断講座を開催しました。公園内を散策して、樹木医の方たちから樹木診断法や樹勢回復方法を教わりました。午後からは、日本樹木医会鳥根県支部会と共同主催で、樹木医養成講座を開催しました。



メイン講師 佐藤仁志 他 スタッフ 長野和秀、野口朱美、中村正志、福岡茂明

## 9月14日(金)雲南市立西小学校第2回みーもスクール

雲南市立西小学校4年生33名に対して、第2回みーもスクールとして、「ネイチャーゲーム」指導を実施しました。

指導 野田真幹、細田祥子(島根県)



## 9月15日(土)~16日(日)チェーンソーの目立て及び伐木研修

奥出雲町オロチの深山きこりプロジェクト実行委員会(事務局 NPO 法人もりふれ倶楽部)では、奥出雲町において「チェーンソーの目立て及び伐木研修」を国内屈指のチェーンソー指導者である石垣正喜氏・米津要氏等を招き同町内で実施しました。約40名の参加者は、基本的な技術を再確認し、自身の悪い癖等の改善等に取り組みました。

指導 Sジット、ジット島根 スタッフ 安藤孝満(松江市) 細田祥子(島根県)

## 9月17日(祝月)森の健康診断~奥出雲町

奥出雲町オロチの深山きこりプロジェクト(事務局 NPO 法人もりふれ倶楽部)では、「森の健康診断」を奥出雲町12か所のポイントで、約50名の参加を得て実施しました。

指導 野田真幹他 スタッフ安藤孝満(松江市) 細田祥子(島根県)



## 9月20日(木)しまね森づくりコミッション出前講座 14

しまね森づくりコミッションで、出前講座の一環として、邑南町立瑞穂小学校6年生25名に対して「森の大切さの講義」、「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子

## 9月23日(日)第2回県民の森『県民の森憩い講座』

県民の森『里山の憩い講座』第2回「森の健康診断&スギ染め・和紙づくり」を開催しました。主催は島根県・(株)フロンティア赤来

指導 中村正志、野田あや子、野田真幹



## 9月24日(月)奥出雲町阿井公民館対応

奥出雲町阿井公民館の主催行事で、小学生を対象に、竹筒ごはんづくりを行いました。

指導 野々村俊成、野田真幹

## 9月25日(火)しまね森づくりコミッション出前講座 15

しまね森づくりコミッションで、出前講座の一環として、益田市立都茂小学校3,4年生13名に対して「森の大切さの講義」、「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、安達美香(アンダンテ21)



## 9月27日(木)しまね森づくりコミッション出前講座 16

しまね森づくりコミッションで、出前講座の一環として、益田市立中西小学校4年生(分校3年生含む)20名に、「森の大切さの講義」、「和紙作り体験」の指導を行いました。 指導 野田真幹、安達美香(アンダンテ21)



## 9月28日(金)しまね森づくりコミッション出前講座 17

しまね森づくりコミッションで、出前講座の一環として、益田市立真砂小学校全校生徒16名に、「森の大切さの講義」、「木切れ工作」、「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、安達美香(アンダンテ21)



## 9月30日(日)第5回里山自然塾～竹を楽しむ!竹で食べる!～

島根県からの委託事業「第5回里山自然塾～竹を楽しむ!竹で食べる!」を開催しました。参加者30名は、里山の竹問題について学び、島根県森林インストラクターの中村正志氏の指導で、竹筒で炊き込みご飯を作り、竹のフライパンでオムレツを作り試食しました。午後からはバームクーヘン作りにチャレンジし、クロモジ茶と一緒に楽しいお茶の時間を過ごしました。

指導 中村正志 ボランティア 野々村俊成



## 10月2日(火)松江市市民環境講座対応

松江市市民大学環境講座の約30名に対して、ふるさと森林公園学習展示館において「森林保全の大切さの講義」、「コケ玉作り体験」、「森林散策」を行いました。

指導 伊原千里、中村正志、野田真幹 スタッフ 安藤孝満(松江市)、宮崎徳子

## 10月3日(水)雲南市立西小学校第3回みーもスクール

「森東部農林振興センター雲南事務所林業普及グループ協働で、雲南市立西小学校4年生33名に対して、第3回みーもスクールとして、「森林作業体験」指導を実施しました。

指導 野々村俊成、中村正志、野田真幹



## 10月9日(火)しまね森づくりコミッション出前講座 18

しまね森づくりコミッションで、出前講座の一環として、益田市立道川小学校全校児童7名に対して、「森の大切さの講義」、「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、安達美香(アンダンテ21)



## 10月10日(水)しまね森づくりコミッション出前講座 19

しまね森づくりコミッションで、出前講座の一環として、浜田市立第二中学校1年生63名に対して、栗栖誠氏の山林で、栗栖氏の案内による散策と「森林保全の講義」と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。 指導 野田真幹



## 10月11日(木)しまね森づくりコミッション出前講座 20

しまね森づくりコミッションで、出前講座の一環として、平成24年10月11日(木)松江市立宍道学校5年生55名に対して「森の大切さの講義」、「ネイチャーゲーム」指導を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子、安藤孝満(松江市)

## 10月14日(日)第6回里山自然塾～秋の里山でキノコを探そう!～

島根県からの委託事業「第6回里山自然塾～秋の里山でキノコを探そう!」を開催しました。参加者45名は、3班に分かれ、園内の3ブロックで、それぞれキノコ探しを行いました。学習室に戻ると、各班内で相談しながら、図鑑を使って自主鑑定を行いました。その後、講師の平佐さん、富川さん、宮崎さんからレクチャーを受け、自主鑑定の結果を確認してもらいました。食べられるキノコは、キノコ汁にしておいしく頂きました。



講師 平佐隆文、富川康之、宮崎恵子



## 10月15日(月)しまね森づくりコミッション出前講座 21

しまね森づくりコミッションで、出前講座の一環として、浜田市立木田小学校3年生から6年生に対して、「森の大切さの講義」、「樹木観察」の指導を行いました。  
講師 野々村俊成、中村正志

## 10月16日(火)しまね森づくりコミッション出前講座 22

しまね森づくりコミッションで、江津市立江津東小学校4年生26名に対して「森の大切さの講義」、「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。当日は参観日も兼ねていましたので、保護者の方達にも参加して頂きました。  
指導 野田真幹、宮崎徳子



## 10月18日(木)雲南市立西日登小学校対応

雲南市立西日登小学校5年生11名に対して、「ヒノキの皮から和紙づくり体験」の指導をおこないました。この事業は緑の募金の助成を得て行われています。  
指導 野田真幹、宮崎徳子

## 10月19日(金)しまね森づくりコミッション出前講座 23

しまね森づくりコミッションで、出前講座の一環として、雲南市立寺領小学校3,4年生20名に対して「森の大切さの講義」、「ヒノキの和紙作り体験」1,2年生24名に対して「森の大切さの講義」、「木切れ工作」の指導、5,6年生23名に対して「樹木観察」の指導を行いました。 指導 中村正志、野田真幹、宮崎徳子



## 10月20日(土)大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第5回大人のための自然観察会を開催しました。  
指導 中村正志 ボランティア 百合澤博文、竹田正彦



## 10月21日(日)宍道町佐々布下子供会対応

ふるさと森林公園学習展示館に来館された宍道町佐々布下子供会親子約27名に対して、ガリガリふしぎプロペラとスーパー竹トンボ作りの指導を行いました。 指導 野々村俊成



## 10月21日(日)津和野町研修

津和野町、NPO 法人もりふれ倶楽部主催の安全な作業のための技術研修～伐木造材集中研修を津和野町で実施しました。 指導 坂越浩一、響繁則

## 10月24日(水)安来市立布部小学校第2回みーもスクール



第2回みーもスクールとして、安来市立布部小学校5～6年生8名に対して、森林保全の講義、3～4年生13名に対して、学校林でネイチャートレイリングを行いながら樹木学習の指導を行いました。

指導 中村正志、野田あや子、野田真幹

## 10月26日(金)しまね森づくり Kommission 出前講座 24

しまね森づくり Kommission では、出前講座の一環として、津和野町立日原小学校6年生21名に、「森の大切さの講義」、「森林体験～特別メニュー：子ども版木の駅プロジェクト」の指導を行いました。

指導 野田真幹、安達美香(アンダンテ21)



## 10月27日(土)第1回森林ボランティア講座

島根県立ふるさと森林公園において、第1回森林ボランティア講座(上級編)「刈り払い機で山を刈る」を開催しました。 講師 穂井田頼

## 10月28日(日)水源地域環境保全活動事業

奥出雲町三沢地区において、水源地域環境保全活動事業「オロチの深山きこりプロジェクトから山の大切さを学ぶ」を行いました。

指導 響繁則、中村正志、野田真幹



## 10月30日(火)松江市母衣小学校第2回みーもスクール

松江市母衣小学校5年生約80名に対して、第2回みーもスクールを実施しました。2グループ各約40名ずつに分かれ、午前、午後交代で、奥出雲町にて「シイタケ生産現場の見学」、ふるさと森林公園にて「ネイチャートレイリング体験」を実施しました。

指導 野々村俊成、響繁則、中村正志、野田真幹、宮崎徳子他



# もりふれ倶楽部今後の予定

12月8日(土) 10時～15時 森林ボランティア養成講座(徹底した基礎確認) ふるさと森林公園

刈り払い機・チェーンソーの基礎知識、目立て、チェーンソーでの安全な伐木・造材実習

参加者募集中: 参加費 機械持参 1,000円 機械無し 2,000円

注: もりふれ倶楽部会員は、機械持参 500円 機械無し 1,000円 定員10名(先着順)

作業のできる服装で雨天時は雨具も持参

12月9日(日) 10時～15時 里山自然塾「里山素材のリースづくり」

参加者募集中: 参加費300円 場所: ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

12月9日(日) 10時～15時 昭和初期の農村を聞き書きから巡る

場所: 奥出雲町阿井コミュニティーセンター

参加者募集中: 参加費1,000円(地元加工グループ作の昼食代)

「あい」の刊行を記念して、たくさんのお話し手の方々にトークショーを繰り広げていただきます。  
まさに、昭和の農山村で力強く生きてこられた方々の感動のノンフィクションがここにあります。

ご参加の方には、もちろん聞き書き「あい」をプレゼントさせていただきます。

無料のバス送迎有 島根県庁郵便局前 8時15分発 ふるさと森林公園学習展示館前 9時10分発

12月16日(日) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

大人のための自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。(16歳以上のみ参加できます。)

参加者募集中:参加費100円 持ち物~カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

会員ボランティア募集中:9時~12時~若干の交通費補助支給

1月13日(日) 10時~15時 里山自然塾「これぞ七草!」

参加者募集中:参加費300円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物~弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

1月13日(日) 15時~16時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

大人のための自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。(16歳以上のみ参加できます。)

参加者募集中:参加費100円 持ち物~カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

1月13日(日) 17時 ふるさと森林公園クラブハウス付近

とんどさん 参加無料

1月13日(日) 18時 もりふれ倶楽部新年会 ふるさと森林公園学習展示館

参加費:5,000円(宿泊込) 宿泊無し 3,000円

1月14日(月) 9時~15時 会員限定研修会 燻製づくり ふるさと森林公園

参加費:無料

1月27日(日) 10時~15時 出雲市佐田町 吉栗の郷

森林ボランティア1日限りの作業班:除伐と片付け

参加者募集中:1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

前日正午まで申し込みをお受けします。会員の方には、若干の交通費補助を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

もりふれ倶楽部では、常に会員を募集中です!

年会費2,000円 入会金1,000円です!

2013年1月以降ご入会の方は、2013年度ご入会扱いとさせていただきますが、ご入会日から2013年4月1日の間も会員扱いとさせていただきます、会報等も送らせていただきます。

## もりふれ倶楽部会報

NO. 35

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール [morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.morifure.jp/>